

高齢者看護学概論	1年・後期	2単位 30時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310751

1. 授業のねらい・概要

高齢者看護学は、高齢者が人生の統合に向けて老年期を生きられるように個人の力を引き出し、健やかに老いることを支える実践を科学する学問である。本授業では、老年期にある人の身体的、心理・精神的、社会的変化が及ぼす生活への影響、および高齢者を取り巻く環境や保健医療福祉システムを理解することを目的としている。高齢者の生きる過程を支援するために必要な基礎的知識・技術を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 加齢に伴う正常な加齢変化と病的加齢現象の区別ができる。(D-2)
2. 老年期の身体的、心理・精神的、社会的変化が説明でき、老いることを説明できる。(D-2)
3. 老年期の発達課題や生きがい等が説明できる。(D-2)
4. 加齢に伴う老いを生きるということを説明できる。(D-2)
5. 加齢に伴う循環器・呼吸器・消化器・腎・泌尿器系の変化を説明できる。(D-2)
6. 加齢に伴う感覚器・運動器・内分泌・免疫系・認知機能の変化を説明できる。(D-2)
7. 高齢者を取り巻く環境について説明できる (D-2)
8. 高齢者の生活に関連したケアシステムについて説明できる。(D-2)
9. 高齢者に関連した高齢者を支える制度を説明できる。(D-2)
10. 高齢者の多様な生活の場における看護について説明できる。(D-2)
11. ライフレビュー、ライフヒストリーについて説明できる。(D-2)
12. 画像や映像を通して、過去と現在の文化の違いについて説明できる。(D-2)
13. 「エリクソン」「ハヴィガースト」「バトラー」等の高齢者に関連した理論について説明できる。(D-2)
14. 高齢者の尊厳死について説明できる。(D-2)
15. 高齢者看護学領域における基礎的な用語について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

本科目では、老年期を生活している人を理解するための基本的な知識・技術を学ぶ。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員看での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	高齢者看護の基盤	講義	予習：テキストの「高齢者とは」の部分 を事前に読む。	石久保雅浩

			復習：授業で学んだ，加齢による変化や高齢者の特徴，人口の高齢化についてまとめる。	
2	日本の高齢社会の特徴	講義	予習：日本の高齢化について，事前に調べ，その特徴についてまとめる。 復習：授業で学んだ，わが国における高齢化の特徴や，諸外国との違いについてまとめる。	石久保
3	高齢者の健康とは	講義	予習：テキストの「高齢者にとっての健康」の部分を事前に読む。 復習：授業で学んだ高齢者の健康について，及び，高齢者の健康の目標について具体的にまとめる。	石久保
4	高齢者の自立を妨げる要因	講義	予習：テキストにある「高齢者の自立を妨げる要因」を確認しておく。 復習：授業で学んだ「老年症候群」「フレイル」「サルコペニア」のポイントをまとめる。	石久保
5	加齢の伴う身体の変化（循環器・呼吸器・消化器・腎・泌尿器系）	講義	予習：テキストの「高齢者看護の基本」の部分を事前に読む。 復習：高齢者によくみられる疾患「循環器」「呼吸器」「消化器」「腎・泌尿器」についてまとめる。	石久保
6	加齢の伴う身体の変化（感覚器・運動器・内分泌・免疫系・認知機能）	講義	予習：テキストの「高齢者によくみられる疾患」の部分を事前に読む。 復習：高齢者によくみられる疾患「感覚器」「運動器」「内分泌」「免疫」「認知機能」についてまとめる。	石久保
7	高齢者の生活と社会的活動	講義	予習：高齢者の加齢に伴う生活上の変化について，身近な高齢者を観察する。 復習：授業で学んだ，高齢者の経済状況や就業の状態，高齢者と家族サイクルの特徴，老親の扶養等についてまとめる。	石久保
8	加齢に伴う生活の変化	講義	予習：テキストの「高齢者をとりまく社会」を事前に読んでおく。 復習：授業で学んだ，高齢者と家族サイクル，ライフサイクルに応じた様々な生活の変化についてまとめる。	石久保
9	高齢者を支える制度	講義	予習：テキストの「高齢者を支える制度」の部分を事前に読む。 復習：授業で学んだ「医療保険制度」「介護保険制度」「公的年金制度」「生活保護制度」「成年後見制度」「日常生活支援事業」についてまとめる。	石久保
10	地域包括ケアシステム	講義	予習：テキストの「地域包括ケア」の部分を事前に読む。 復習：地域包括ケア，療養の場の移行期における支援についてまとめる。	石久保
11	多様な生活の場における看護	講義	予習：病院でのケアに加え，介護保険施設，地域密着型サービス，デイサービス・デイケアについて調べる。 復習：授業で学んだ，介護老人保健施設，特別養護老人ホーム，グループホーム，介護療養型医療施設等についてまとめる。	石久保
12	高齢者の生きてきた背景	演習	予習：テキストのライフレビューやライフヒストリーを確認しておく。 復習：画像や映像を通して，高齢者の生きてきた背景を理解する。	石久保
13	過去と現在の文化の違い	演習	予習：テキストの「高齢者看護の基本」の部分を事前に読む。	石久保

			復習：グループワークを通して、過去と現在の文化の違いについて話し合い、現在を生きる高齢者観等についてまとめる。	
14	高齢者看護に適用する理論・概念	講義	予習：テキストの「高齢者に関わる諸理論」を事前に読み、表にまとめる。 復習：「エリクソン」「ハヴィガースト」「バトラー」等の理論について表にまとめる。	石久保
15	死の準備教育等・まとめ	講義	予習：テキストの「高齢者における倫理」を事前に読む。 復習：高齢者の死の意識や、尊厳死、リビングウィル、アドバンス・ケア・プランニングにおけるアドバンスディレクティブ等についてまとめる。	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%，授業中の態度 20%を総合して評価する。
成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で説明する。
定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害
メディカ出版
2) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践
メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲、および、事前事後学修（学修課題）について、最低 90 分の予習及び授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。
学習内容に関する質問は、メールでも対応する。

8. 受講上の留意事項

高齢者看護学実習の先修科目である。

積極的に高齢者を知ろうとし尊敬する気持ちを持って学習に臨むこと。

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、無断欠席および講義中の私語、授業に関連する作業以外の行動は禁止とする。グループワークは、主体的かつ協働的に参加すること。

遅刻は、1コマ中45分未満の欠課を1欠課、45分以上の欠課を2欠課とし、合計8欠課を1欠席とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
試験実施の際に傾向や解答を口頭で説明するか試験実施後解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。